

2017年4月11日

各 位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 0 9 4 8

「ブレディニンOD錠50mg」のオーダ開始について

免疫抑制剤「ブレディニンOD錠50mg」（旭化成ファーマ）は、薬事委員会にて、「ブレディニン錠50mg」（旭化成ファーマ）と交換採用となりました。なお、「ブレディニン錠25mg」も変更予定です。変更時にはまたお知らせします。

平成29年4月12日（水）より「ブレディニンOD錠50mg」のオーダを開始し、「ブレディニン錠50mg」は当院取り扱いを中止（院外処方も不可）します。

	オーダ開始	オーダ中止
オーダ名	ブレディニンOD錠50mg	ブレディニン錠50mg
成分名	ミゾリビン	
規格	50mg／錠（口腔内崩壊錠）	50mg／錠（普通錠）
適応症 用法・用量	<p>1. 腎移植における拒否反応の抑制： 体重1kg当り下記量を1日量として、1日1～3回に分けて経口投与。 初期量：2～3mg相当量 維持量：1～3mg相当量</p> <p>しかし、本剤の耐薬量および有効量は患者によって異なるので、最適の治療効果を得るために用量の注意深い増減が必要である。</p> <p>2. 原発性糸球体疾患を原因とするネフローゼ症候群（副腎皮質ホルモン剤のみでは治療困難な場合に限る）およびループス腎炎（持続性蛋白尿、ネフローゼ症候群または腎機能低下が認められ、副腎皮質ホルモン剤のみでは治療困難な場合に限る）： 〔成人〕1回50mgを1日3回経口投与。腎機能の程度により減量等を考慮する。本剤の使用以前に副腎皮質ホルモン剤が維持投与されている場合には、その維持用量に本剤を上乗せして用いる。症状により副腎皮質ホルモン剤の用量は適宜減量。</p> <p>3. 関節リウマチ： 〔成人〕1回50mgを1日3回経口投与。症状により適宜増減。腎機能の程度により減量等を考慮する。</p>	
外観写真		
区分	処方／共通 平成29年4月12日（水）よりオーダ開始	平成29年4月12日（水）より 当院取扱い中止（院外処方も不可）

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。